



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】ワンポイント解説⑧

日米選挙前特別編

日経平均の暴騰暴落には

OPを組み合わせた戦略で

この番組の最終週は皆様の投資やトレードに役立ちそうな**知る人ぞ知るOP関連情報**について紹介していきます！



OP売坊

©2019-2024 OP売坊

24年12月限SQまでの注目イベント

<米国>

11月01日：雇用統計（10月分）

11月05日：米大統領選

11月07日：FRB政策金利

11月13日：消費者物価指数（10月分）

11月14日：生産者物価指数（10月分）

12月06日：雇用統計（11月分）

12月11日：消費者物価指数（11月分）

12月12日：生産者物価指数（11月分）

<欧州・英国>

11月07日：英国政策金利

12月12日：欧州政策金利

<日本>

10月25日：消費者物価指数（東京10月分）

10月27日：衆院選

10月31日：日銀金融政策決定会合

11月05日：東証新システム（大引けが15時半に）

11月29日：消費者物価指数（東京11月分）

12月13日：12月限SQ日

日経平均は上昇基調にありますが、乱高下を続けています。衆院選や米大統領選の結果で大きく暴騰もしくは暴落するかもしれません



2024年10月

21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2024年11月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2024年12月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

	日経225ミニOPのSQ日
	日経225ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
	メジャー-SQ 日経225ラージ/ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
	祝日取引実施日

◎ 11月4日はJPX現物売買システムの更新移行作業が予定されているため祝日取引が実施されません。

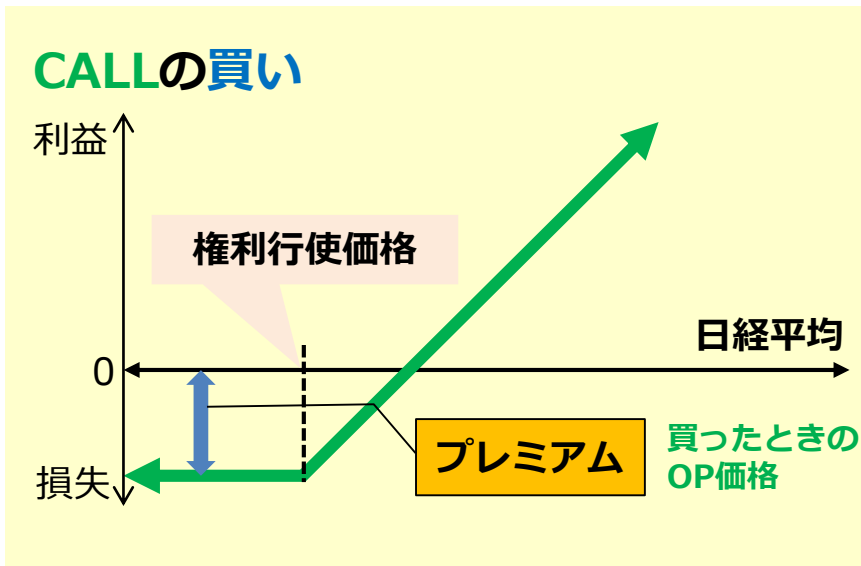
● 第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りの日です。

● OP売坊公式X「@OP49431790」でニュースについてつぶやいています。

[注] 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

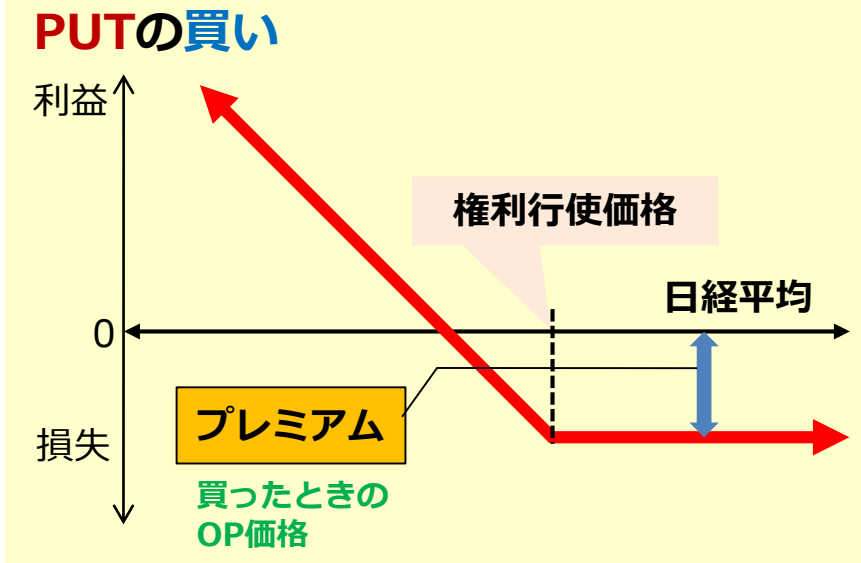
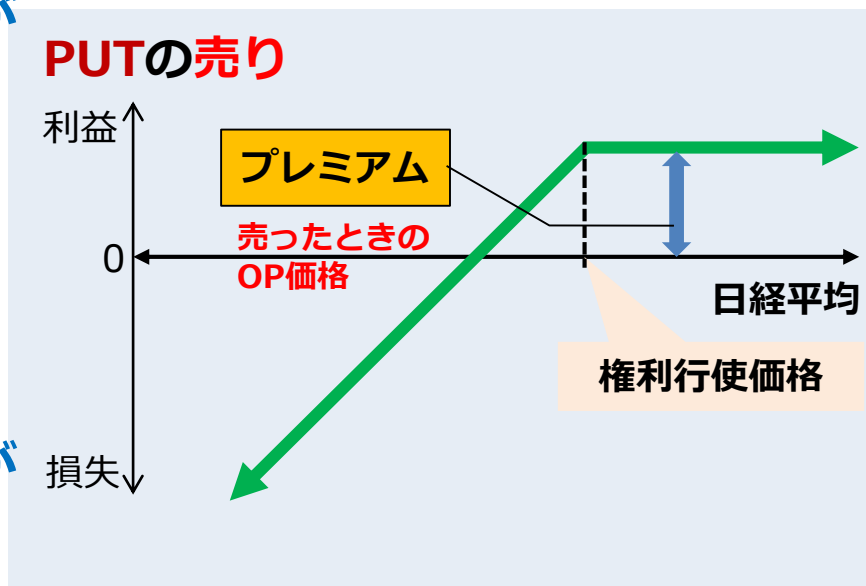
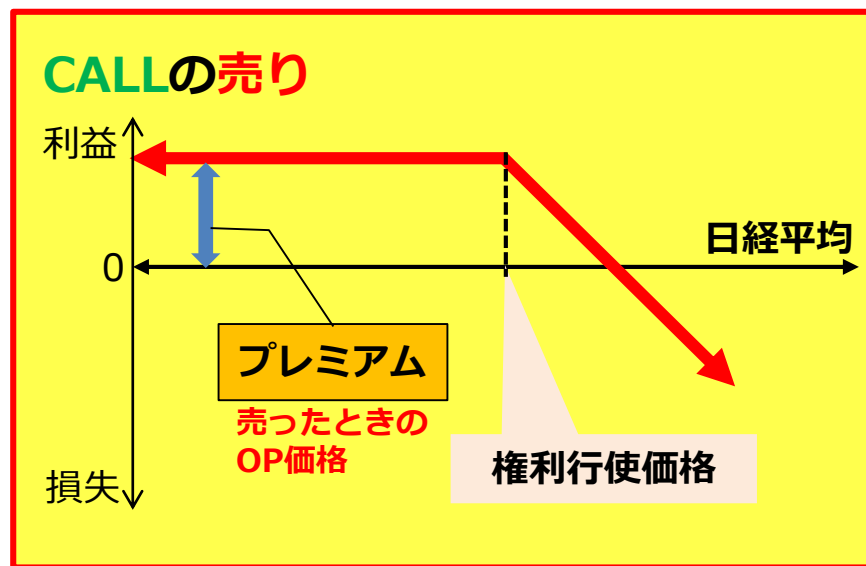
日経225OPの単独4戦略とSQ時の損益曲線

OP買い戦略の損益曲線 = 損失限定



損益曲線が「ナイト」「桂馬」の動き
↓
多彩な損益図を描く戦略が可能に

OP売り戦略の損益曲線 = 収益確定



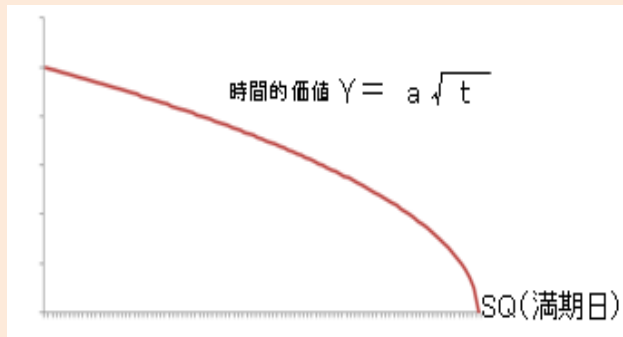
OP買い戦略の注意点

IVの詳細については
OPCTVの『[インプライド・ボラティリティを制する者は市場心理を制す!?](#)』をご覧ください

OP買いはコストがかかる戦略

例えば、40000CALLの価格（プレミアム）が335円であれば、1枚の購入に33万5000円＋手数料ものプレミアムを支払うことになる。しかも……

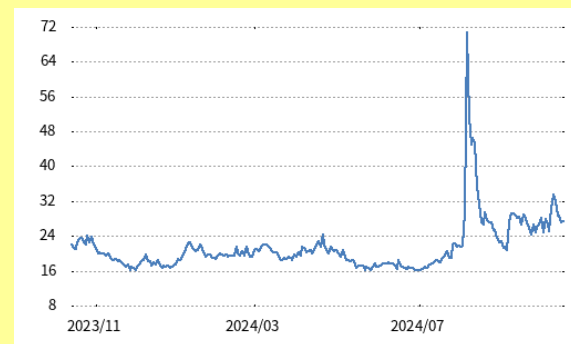
- **タイムディケイ**でOPの価値が減少する



<対応例>

数時間～数日の短期勝負に徹して、目論見が外れたらすぐに損切りをする

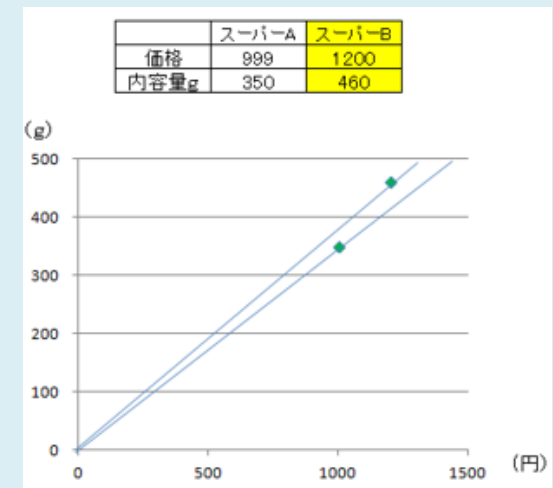
- **ボラティリティ**が高いと価格水準が高くなる



<対応例>

日経VIとスマイルカーブからIVが比較的低い時を見計らう

- **費用対収益**が権利行使価格によって違う

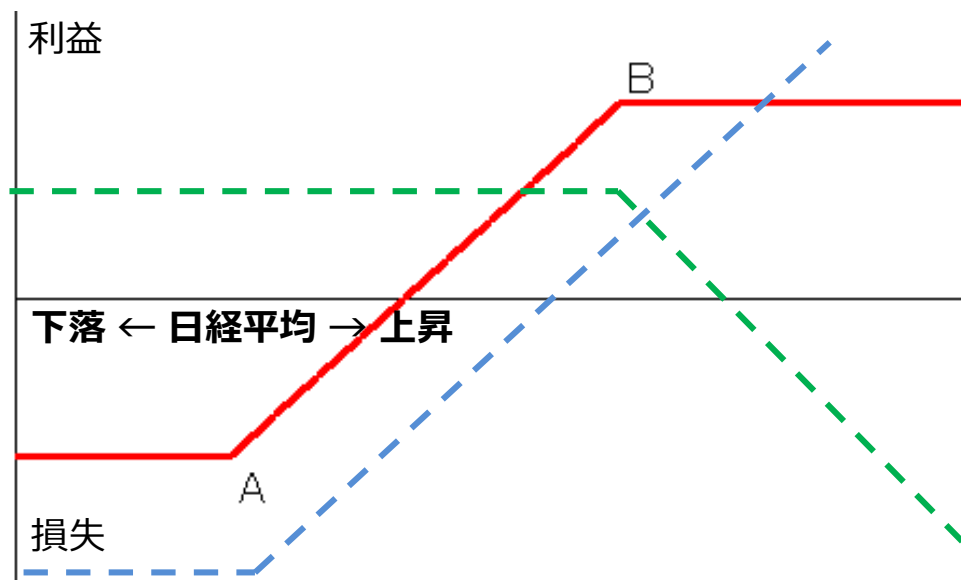


<対応策>

日経平均が500円、1000円など変動したときの費用対収益を計算する

相場に強気ならば「ブルCALLスプレッド」でコストを抑える

ブルCALLスプレッドの損益イメージ



<組み合わせ方>

同一限月同枚数で

CALL買い

+ それよりも高い権利行使価格のCALL売り

(例) 44000CALLを16円で1枚買い、さらに
45000CALLを6円で1枚売った

最大損失 $6 - 16 = \blacktriangle 10$

最大利益 $1000 - 10 = 990$

[注]

- 1) 満期日における損益です
- 2) 手数料・税金は考慮していません

<特徴>

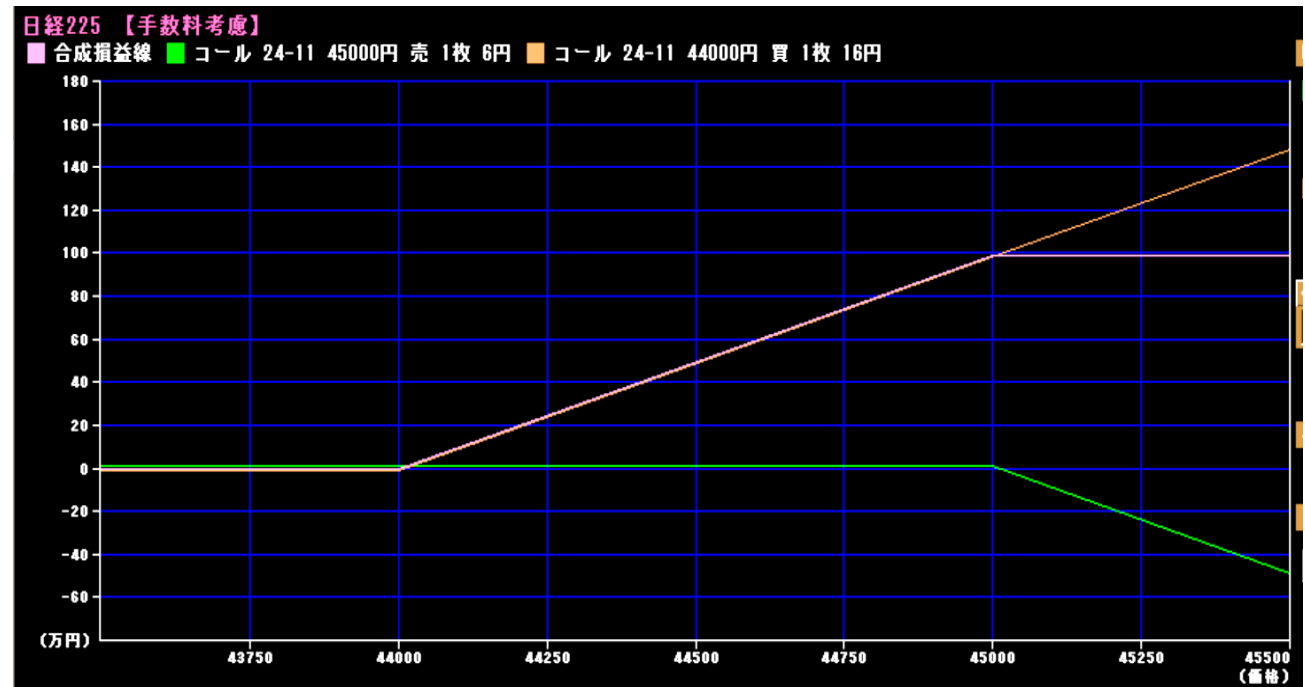
- ◎ 最大損失・最大利益が限定されている
- ◎ CALL売りによるプレミアム収益でコストを抑えられる
- ◎ 単なるCALL買いよりも費用対収益が高くなる場合がある
- ◎ CALL売り玉にかかる証拠金はCALL買い玉によって低減される

ブルCALLスプレッドのシミュレーション例と注意点

仮に日経平均が2000円上昇すると予想した場合の費用対収益の目安と損益図

CALL	売気配	買気配
42000	105	100
43000	41	40
44000	16	15
45000	7	6

買	44000	$100 - 16 = 84$
売	45000	$6 - 41 = \blacktriangle 35$
2000円上昇		$84 - 35 = 49$
最大損失		$6 - 16 = \blacktriangle 10$



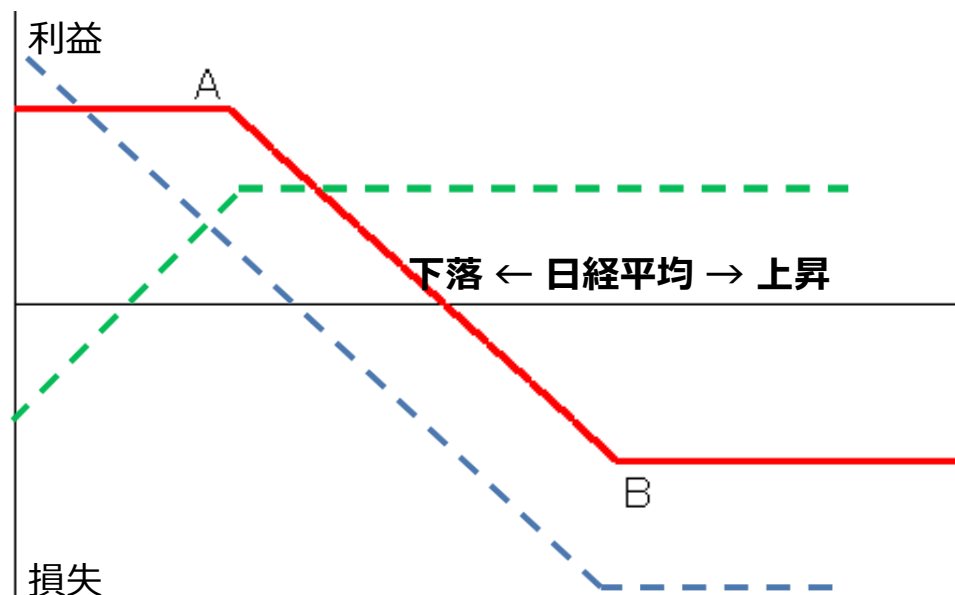
出所) 楽天証券『MARKETSPEED』にて筆者作成

<実践での注意点>

- ◎ 売り気配と買い気配の差 (気配値のスプレッド) に注意
- ◎ 売り建て分の証拠金が当初必要となる場合も
- ◎ かなりITMになって買い玉を先に決済してしまうと証拠金不足になる場合も
- ◎ 日経225先物を含めて日々ポジションを変えることも検討

相場に弱気ならば「ベアPUTスプレッド」でコストを抑える

ベアPUTスプレッドの損益イメージ



<組み合わせ方>

同一限月同枚数で

PUT買い

+ それよりも低い権利行使価格のPUT売り

(例) 34000PUTを86円で1枚買い
33000PUTを54円で1枚売った

最大損失 $54 - 86 = \blacktriangle 32$

最大利益 $1000 - 32 = 968$

[注]

- 1) 満期日における損益です
- 2) 手数料・税金は考慮していません

<特徴>

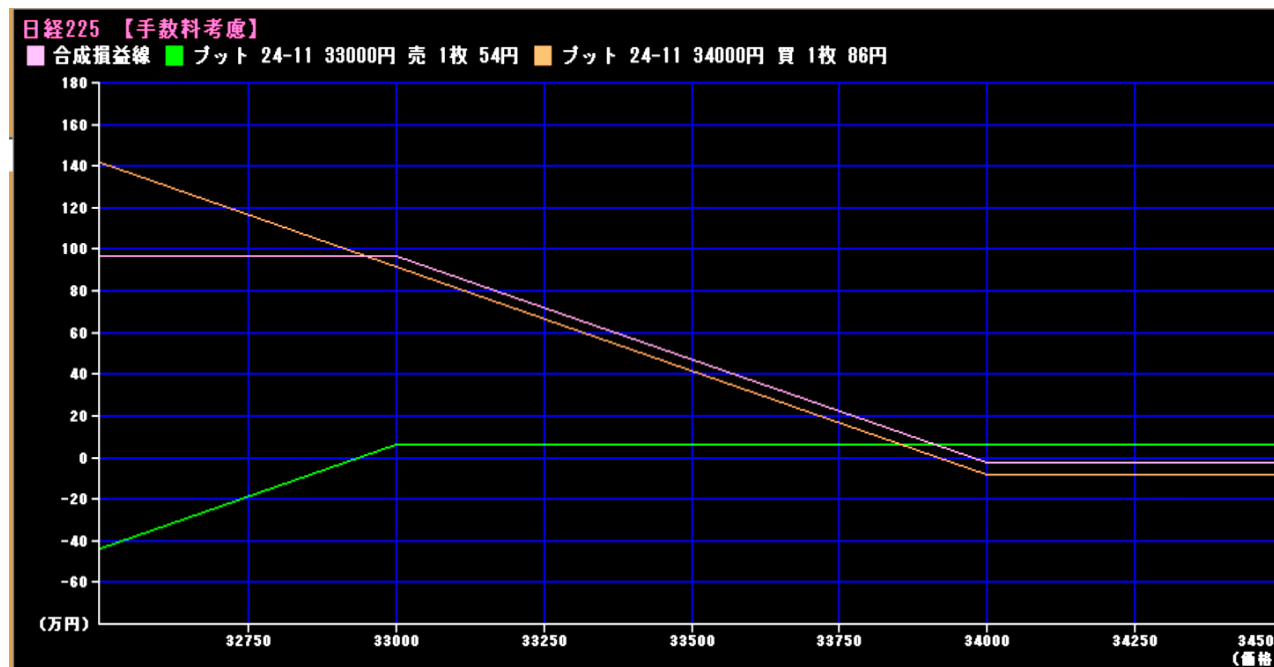
- ◎ 最大損失・最大利益が限定されている
- ◎ PUT売りによるプレミアム収益でコストを抑えられる
- ◎ 単なるPUT買いよりも費用対収益が高くなる場合がある
- ◎ PUT売り玉にかかる証拠金はPUT買い玉によって低減される

ベアPUTスプレッドのシミュレーション例と注意点

仮に日経平均が2000円下落すると予想した場合の費用対収益の目安と損益図

PUT	売気配	買気配
33000	55	54
34000	86	85
35000	125	120
36000	190	185

買	34000	$185 - 86 = 99$
売	33000	$54 - 125 = \blacktriangle 71$
2000円下落		$99 - 71 = 28$
最大損失		$54 - 86 = \blacktriangle 32$



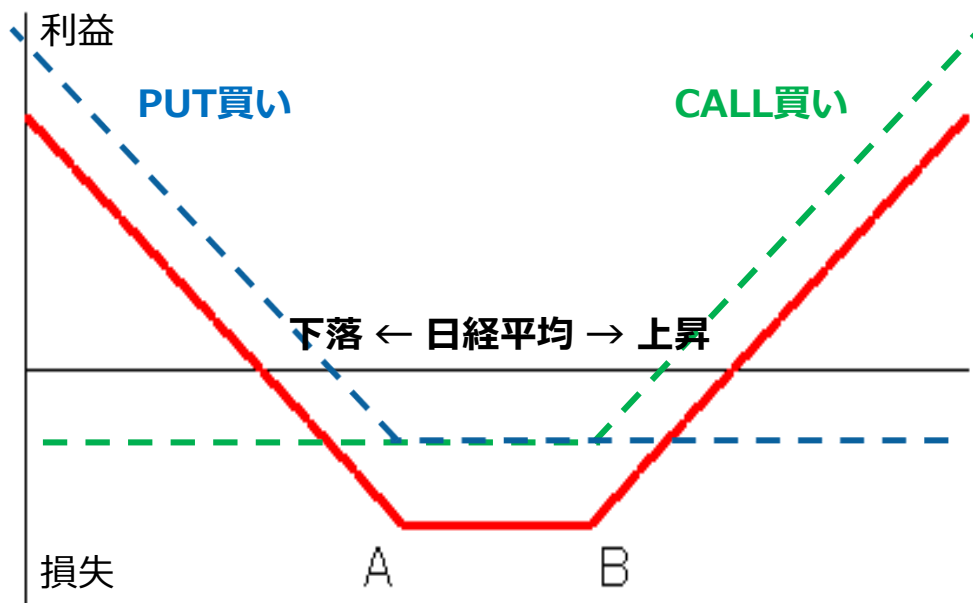
出所) 楽天証券『MARKETSPEED』にて筆者作成

<実践での注意点>

- ◎ 売り気配と買い気配の差（気配値のスプレッド）に注意
- ◎ 売り建て分の証拠金が当初必要となる場合も
- ◎ かなりITMになって買い玉を先に決済してしまうと証拠金不足になる場合も
- ◎ 日経225先物を含めて日々ポジションを変えることも検討

どちらに大きく動くか分からなければ両方買う（ストラングル買い）

ストラングル買いの損益イメージ



<組み合わせ方>

同一限月同枚数で

PUT買い

+ CALL買い

<注意点>

◎デルタがゼロになるように組むと相場に対して中立になる

◎タイムディケイがあるので短期勝負

◎どちらも買うだけなのでコストがさらにかさむ

<特徴>

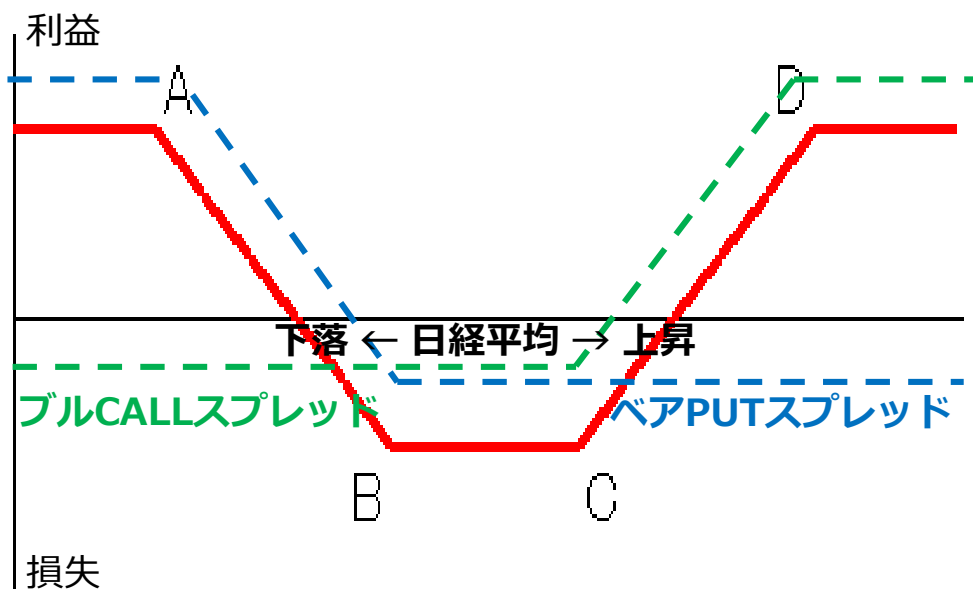
◎最大損失が限定されている

◎売り建てがないので証拠金がかからない

◎同じ権利行使価格のCALLとPUTの両方を買う「ストラドル買い」よりもコストを抑えられる

「コンドル売り」でコストを抑える

コンドル売りの損益イメージ



<組み合わせ方>

同一限月で
ベアPUTスプレッド
+ ブルCALLスプレッド

例えば、ベアPUTスプレッドの代わりにベアCALLスプレッドを使ってもコンドル売りを組成することができます。CALLやPUTだけでもコンドルを組成できるわけです

手仕舞うときは最もリスクの高いPUT売り玉から外すのが基本です

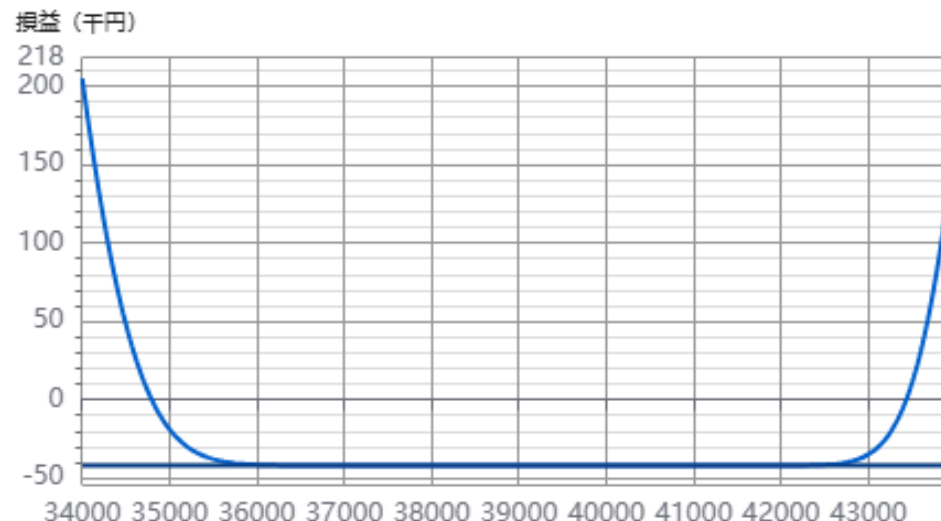
<特徴>

- ◎ 最大損失・最大利益が限定されている
- ◎ PUT売りとCALL売りによるプレミアム収益で「ストラングル買い」よりもコストを抑えられる
- ◎ 売り玉にかかる証拠金は買い玉によって低減される

コンドル売りのシミュレーション例と注意点

仮に日経平均が2000円上昇か下落すると予想した場合の費用対収益の目安と損益図

CALL			PUT		
	売気配	買気配		売気配	買気配
42000	105	100	33000	55	54
43000	41	40	34000	86	85
44000	16	15	35000	125	120
45000	7	6	36000	190	185
買 44000 100-16=84 売 45000 6-41=▲35 2000円上昇 84-35=49 最大損失 6-16=▲10			買 34000 185-86=99 売 33000 54-125=▲71 2000円下落 99-71=28 最大損失 54-86=▲32		



出所) SBI証券にて筆者作成

コンドル売りの最大損失 = ▲42

※売り玉のないストラングル買いであれば▲86 + ▲16 = ▲102

<実践での注意点>

- ◎ブルCALLスプレッドとベアPUTスプレッドの注意点を参照のこと
- ◎コストを抑えると現状から大きく動かないと利益にならないかも
- ◎ボラティリティ (IV) が高い時に組むとコスト高になることも
- ◎CALL買いとPUT買いの権利行使価格を近づけるとコスト高となる



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

12月開講の第11回会員20名様限定募集

充実の180日間！！

(2024年12月～2025年5月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

Find Your Options!

<実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム（動画：全9編76回）
- ② 週次レポート（日米市場分析・今週の戦略など）
- ③ 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
- ④ アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
- ⑤ 個別質問掲示板（スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可）
- ⑥ リスク管理エクセルシート（225OP用・米国株OP用・FX-OP用）
- ⑦ 入門テキスト（PDF：索引付き）

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぎながらOPTレードの本質会得を目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！



詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462600002>

オプション倶楽部

検索



売坊流OPトレード入門セミナー

11月23日（土）10時～（オンライン開催）

不透明な時代、OPで運用の幅を広げてみたい方のために

🎁特典1 受講前に『売坊流OPトレード実践Q&A』を進呈!!

🎁特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈!!

講演内容（予定）

- 1. 日経225CALL売り戦略の基本原則**
なぜOPは「売り」が優位なのか
なぜ225OPは「CALL売り」が優位なのか
なぜ利益よりも確率なのか
- 2. 米国株OPとFX-OPの入門戦略**
米国株ホイール戦略
FXカバード戦略
質疑応答

*Find Your
Options!*



早期割引中!!

詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462500005>

オプション倶楽部 検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



水曜22時から YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミア公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです!

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>



売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索